

# 入院診療の流れ（例）

～ より円滑な臨床研修医の指導を目指して ～

2016年6月

文責 教育研修センターメンターチーム

竹下佳弘

## 1. 新規患者の割り振りと研修医への伝達

### 例①

部長 「新規入院患者で勉強になりそうな症例があるから、〇〇先生（指導医）といっしょに担当して下さい、主治医の〇〇先生には私から伝えておくから」

### 例②

指導医 「入院あるわー、僕と一緒に担当しよう、患者さんに挨拶と診察に行くから一緒に行こう」

ポイント：適切な担当医割り振り

ポイント：主治医・担当医を明確に

## 2. 患者さんへ挨拶 問診 診察

指導医「□□科の〇〇です、入院中主治医をさせていただきます、どうぞよろしくをお願いします」

「(研修医の方を見て…) こちらは研修医の△△です、いっしょに担当させていただきますのでよろしくお願いします」

研修医「研修医の△△です、〇〇先生といっしょに担当させていただきます、どうぞよろしくお願いします」

指導医「では早速ですが、改めて問診と診察をさせていただきます、では△△先生お願いします」

ポイント：挨拶は基本のキ

ポイント：問診・診察

### 3. 病名・入院診療計画書・DPC の入力

指導医「では、一緒に指示とか処方して行こう」

「まずは、病名が入力されているか確認しよう、入力されていないければ入力しよう」

指導医「次に入院診療計画書の入力をしよう、基本的には入院されたらすぐにお渡しすべき書類だから忘れないように先に入力するクセをつけておこう」

「病院によっては、入院診療計画書は医師が直接患者さんにお渡しするというルールが存在するよ」

指導医「次に DPC だ、今の時点で入力できるところは入力しておこう、これもできるだけ早い時期に入力するクセをつけよう」

ポイント：病名入力

ポイント：入院診療書計画書入力

ポイント：DPC 入力

ポイント：記載業務を怠らない

## 4. 入院指示・処方を入力

指導医「では入院指示とか処方を入力していこうか」

「では△△先生よろしく、△△先生に全部入力してもらおうわ、私が横でみておくから心配しなくていい、まずは△△先生にまかせるわ」

「この患者さんの感染症は\*\*\*だから抗生剤は何をチョイスする？

起因菌、移行性、重症度などを考慮して・・・さあ、どうする？」

「Oh～、そうそう、それでいいと思う、では処方入力よろしく」

指導医「次は入院指示の入力や、基本的に口頭指示はダメだ、指示は記載しよう」

「発熱時はどうする？バイタル測定はどうする？心拍数や SpO2 が\*\*\*以上で Dr Call、といった指示も具体的に記載しよう、ではいっしょに考えながら入力しよう」

ポイント：研修医と対話

ポイント：研修医を放置しない

## 5. 退院指示・退院後のプラン作成

指導医「この患者さんは退院可としよう、では△△先生、退院指示と退院後のプランを立てよう」

「退院サマリーの記載よろしく、できれば退院して1週間以内に、そして記載できれば私のところに持ってきてください、添削するので」

「紹介患者だから、返信の記載もよろしく、書けたら添削するので見せてください」

「退院したら一度外来に来てもらって検査の確認をしておこう、だから、患者さんが退院後に外来に来られたら△△先生も呼ぶわ、一緒に診察しよう」

ポイント：退院サマリーや返信を忘れない

ポイント：退院したら終了、ではない